

# 自殺直前のサイン

学校や学級に、こうした様子が見られる児童・生徒はいないでしょうか

- これまでに関心のあった事柄に対して興味を失う
- 注意が集中できなくなる
- いつもなら楽々できるような課題が達成できない
- 成績が急に落ちる
- 不安やイライラが増し、落ち着きがなくなる
- 投げやりな態度が目立つ
- 身だしなみを気にしなくなる
- 健康や自己管理がおろそかになる
- 不眠、食欲不振、体重減少等の様々な身体の不調を訴える
- 自分より年下の子供や動物を虐待する
- 学校に通わなくなる
- 友人との交際をやめて、引きこもりがちになる
- 家出や放浪をする
- 乱れた性行動に及ぶ
- 過度に危険な行為に及ぶ、実際に大怪我をする
- 自殺にとらわれ、自殺についての文章を書いたり、自殺についての絵を描いたりする



そういえば、あの子、今週に入ってから授業に集中できていないかもしれないな。個別に声を掛けてみよう。



自殺を企図する兆候が見られた場合には、

## 保護者と連携し、医療機関によるキユア（専門的治療）につなげる

令和3年における全国の児童・生徒の自殺の原因・動機 上位5項目

	原因・動機	人数（令和2年比）
1	病気の悩み・影響（その他の精神疾患）	44（+4）
2	学業不振	40（-12）
3	親子関係の不和	38（-4）
4	病気の悩み・影響（うつ病）	37（+4）
5	その他進路に関する悩み	33（-22）

特に、次の3点に留意！

**精神疾患の疑い**

**自殺の危険因子**

成績の低下

家庭環境の変化

（出典）厚生労働省「自殺の統計：各年の状況」を基に文部科学省が作成した表を改変



児童・生徒の**自殺の背景の一つとして精神疾患**が挙げられていることを踏まえ、スクールカウンセラー等による支援を行ったり、スクールソーシャルワーカー等を活用して**医療等の関係機関につなぐ**など、**心の健康問題への対応を徹底**することが重要です。